

マキュエイド®のテノン嚢下投与による治療を受ける患者様へ



• 監 修 •

医療法人竹内眼科 竹内眼科クリニック 院長
東邦大学 特別客員教授

竹内 忍 先生

もくじ

おうはん 黄斑とは？	1
おうはん ふしゅ 黄斑浮腫とは？	2
黄斑浮腫を引き起こす病気	4
マキュエイド®による治療	9
治療後にご注意いただきたいこと	10

あなたの黄斑浮腫(病気の説明:2~3ページ)は

とうによびょうもうまくしょう

糖尿病網膜症(病気の説明:4ページ)

もうまくじょうみやくへいそくしょう

網膜静脈閉塞症(病気の説明:5~6ページ)

ひ かんせんせい まくえん

非感染性ぶどう膜炎
(病気の説明:7~8ページ)

によるものです。

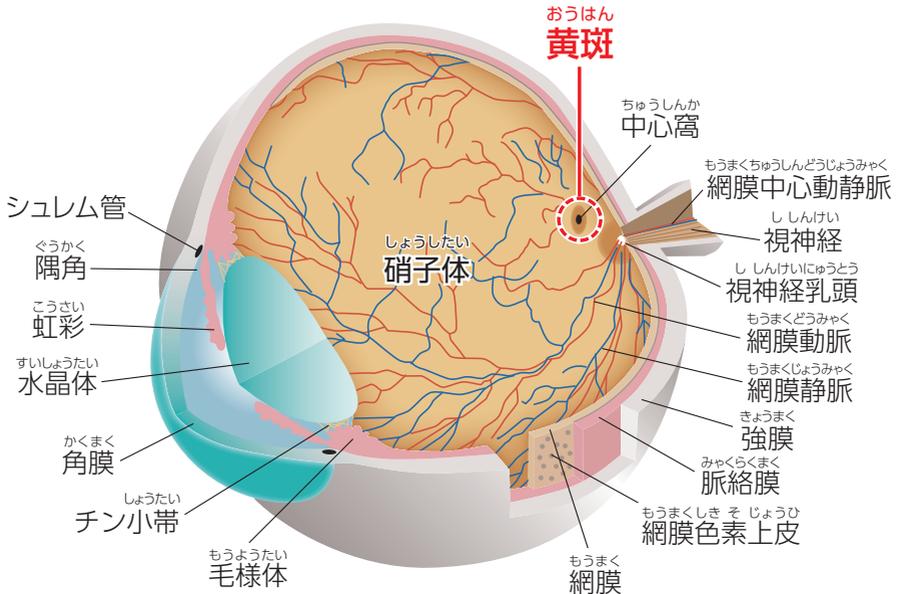
※該当する疾患名に✓をいれてください



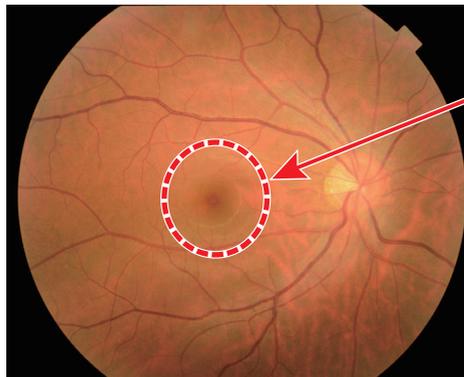
黄斑とは？

おうはん もうまく
黄斑は、網膜の中心部分に位置し、ものを見るために重要な細胞が集中しているところです（下図の赤点線のところ）。

《眼の基本構造》



《眼底写真》



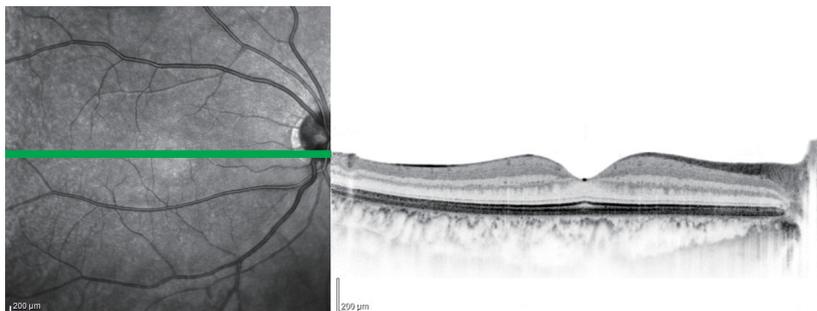
竹内忍先生ご提供

黄斑浮腫とは？

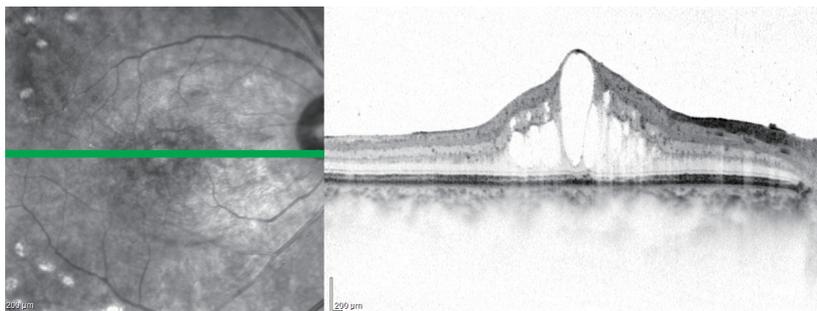
おうはん ふしゅ おうはん ふしゅ は
黄斑浮腫は、黄斑に浮腫（むくみ、腫れ）をきたす状態で、
かすんで見えたり、見えにくいところができたり、ゆが
んで見えたりします。

《黄斑の状態》

正 常
(黄斑部の中心がへこんでいます)



黄斑浮腫
(黄斑部が腫れています)



眼底写真

眼底 — 部断面

竹内忍先生ご提供

黄斑浮腫とは？

《見え方の例》

かすんで見える



見えにくいところがある



ゆがんで見える



黄斑浮腫を引き起こす病気

おうはん ふ しゅ

黄斑浮腫はさまざまな病気によって引き起こされます。

代表的なものに、とうようびょうもうまくしよ 糖尿病網膜症、もうまくじょうみやくへいそくしよ 網膜静脈閉塞症、ぶどうまくえん ぶどう膜炎などがあります。

◆ 糖尿病網膜症

けっとう

糖尿病網膜症は、血糖が高い状態が長く続くことで、網膜の細い血管が少しずつ傷つき、変形したりつまったりします。とうようびょうじんしよ 糖尿病腎症、とうようびょうしんけいしよがい 糖尿病神経障害とともに糖尿病の3大合併症のひとつで、我が国では成人の失明原因の上位です。

たんじゅうもうまくしよ

ぞうしよくぜんもうまくしよ

ぞうしよくもう

糖尿病網膜症は、たんじゅうもうまくしよ 単純網膜症⇒ぞうしよくぜんもうまくしよ 増殖前網膜症⇒ぞうしよくもうまくしよ 増殖網膜症と進行しますが、その進行とは別に、どの病期においても黄斑浮腫があらわれることがあります。これを「とう糖尿病黄斑浮腫」といい視力低下の大きな原因となります。

《糖尿病網膜症の進行過程》



(改変Davis分類)

糖尿病黄斑浮腫

黄斑浮腫を引き起こす病気

◆ 網膜静脈閉塞症

もうまく

網膜の静脈は、枝状に分かれ網膜全体に広がっていて、
もうまくちゅうしんじょうみやく
眼球の後方にある視神経内で1本の網膜中心静脈になります。

もうまくじょうみやくへいそくしょう

網膜静脈閉塞症は、いろいろな原因で網膜の静脈がつまり、網膜に出血を起こします。網膜中心静脈が詰まった場合を「もうまくちゅうしんじょうみやくへいそくしょう網膜中心静脈閉塞症」といい、網膜全体に広く出血します。枝状に分かれた網膜静脈が詰まった場合を「もうまくじょうみやくぶんしへいそくしょう網膜静脈分枝閉塞症」といい、網膜の限られた範囲に出血が起こります。

突然の視力低下(見えにくくなった) や急激な視野障害(ある部分が見えなくなった) などの症状がみられることがあります。

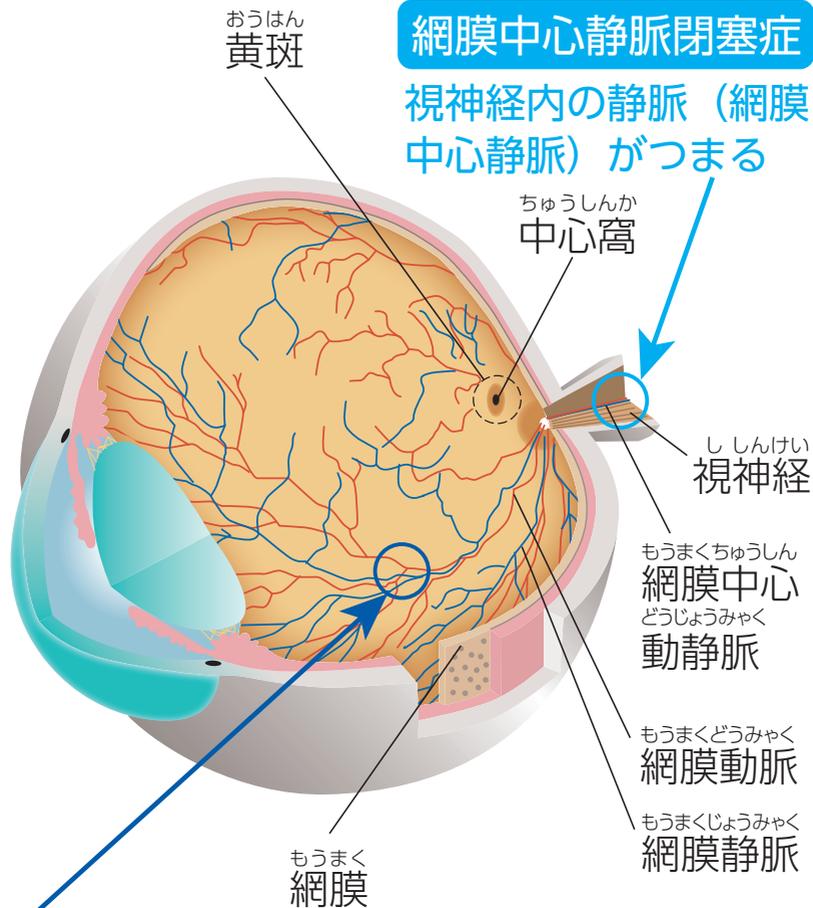
がっぺいしょう

おうはん ふ しゅ

また、合併症として黄斑浮腫を起こすことがあり、視力低下の大きな原因となります。

黄斑浮腫を引き起こす病気

《網膜中心静脈閉塞症と網膜静脈分枝閉塞症》



網膜中心静脈閉塞症

視神経内の静脈（網膜中心静脈）がつまる

網膜静脈分枝閉塞症

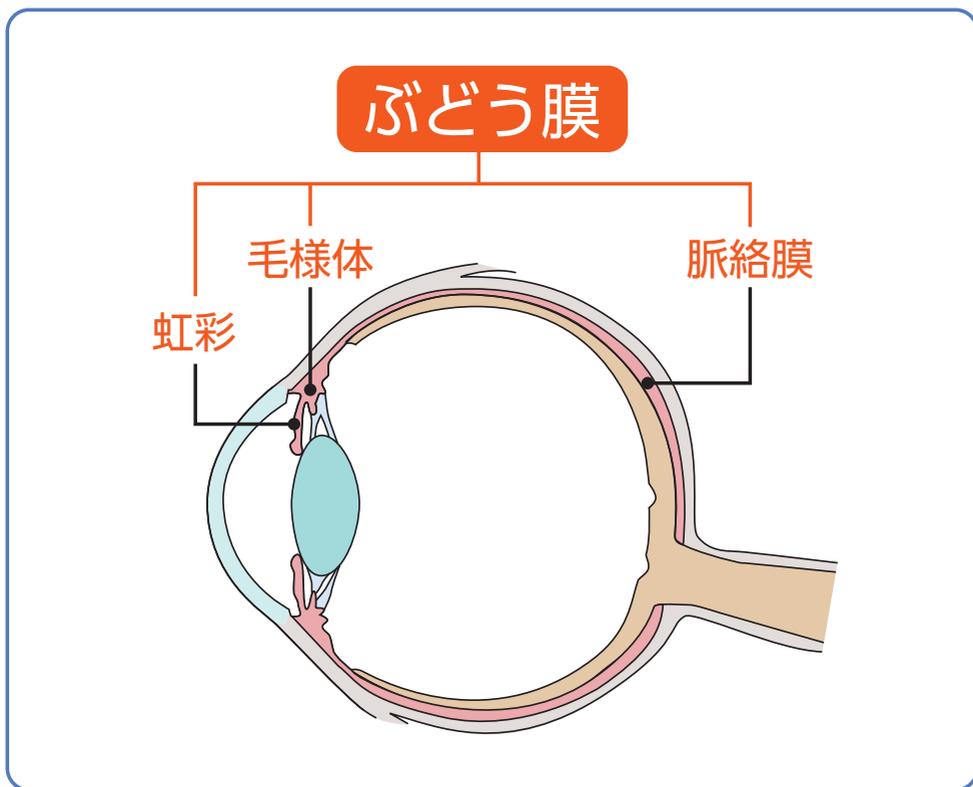
網膜内の静脈（網膜静脈）がつまる

黄斑浮腫を引き起こす病気

◆ ぶどう膜炎

ぶどう膜とは、虹彩・毛様体・脈絡膜からなる非常に血管の多い組織です。

ぶどう膜炎はぶどう膜に炎症が起こる病気です。細菌、ウイルス、真菌（カビ）などが原因の感染性ぶどう膜炎と、全身の免疫異常から起こるサルコイドーシス、原田病、ベーチェット病などが原因の非感染性ぶどう膜炎があります。



黄斑浮腫を引き起こす病気

ぶどう膜炎が生じると、霧視（かすんで見えること）や
飛蚊症（虫が飛んでいるように見えること）、羞明感（まぶ
しく感じること）、その他にも視力低下、眼痛、充血などの
症状がみられることがあります。これらの症状は、片眼だ
けのことも両眼のこともあり、両眼交互に症状があらわれ
ることもあります。

また、合併症として黄斑浮腫を起こすことがあり、視
力低下の大きな原因となります。

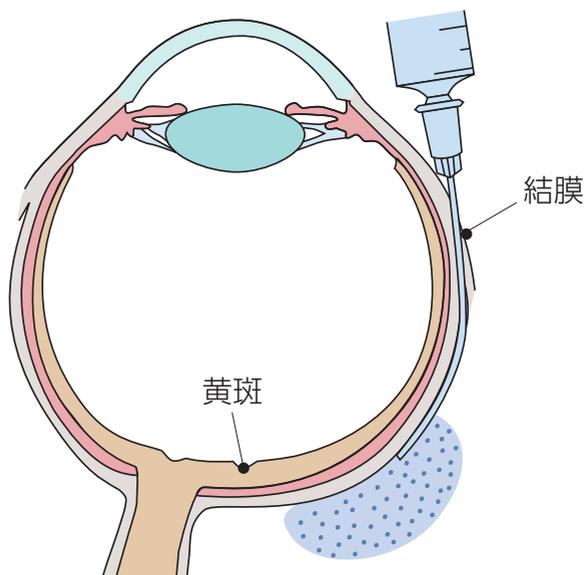
マキュエイド®による治療

マキュエイド®は合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する注射薬で、眼の中の炎症を抑えて黄斑の腫れを鎮めます。

マキュエイド®は「糖尿病網膜症」、「網膜静脈閉塞症」、「非感染性ぶどう膜炎」による黄斑浮腫を軽減する目的で、テノン嚢下投与という方法で注射します。

テノン嚢下投与

結膜からテノン嚢という部位に特殊な針を入れて、眼球のうしろの黄斑に近い部位に薬液を注入します。



治療後にご注意いただきたいこと

【マキュエイド®の副作用】

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。

眼圧上昇・緑内障

◆注射直後およびしばらくしてから、眼圧（眼の中の圧力、がんあつ眼の硬さのこと）が上がる場合があります。定期的に眼圧検査が行われますので、忘れずに受診してください。

白内障

◆白内障（水晶体が白く濁ること）があらわれる、または悪化することがあります。まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ないなどの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。

感染性強膜炎

◆感染性強膜炎があらわれることがあるので、目の痛み、目の充血、涙がでる、まぶしい、視力の低下、霧がかかったような見え方などの異常があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。

治療後にご注意いただきたいこと

《部位別おもな自覚症状》

副作用のあらわれる部位と自覚症状を記載しました。このような症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。また、これらの自覚症状は、同時にあらわれることもあります。

部 位	自覚症状
頭 部	頭痛
眼	まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ない、目の充血、霧がかかったような見え方、目の痛み、目のかすみ、視野が欠けて狭くなる、涙がでる
口や喉	吐き気

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.

マキュエイド®のテノン嚢下投与による治療を受ける患者様へ

マキュエイド®による治療後、
いつもと違うと感じた際には、
すぐに医師または薬剤師に
連絡してください。



わかもと製薬株式会社